

お 知 ら せ

1999 年義父の築いた後藤医院を引き継ぎ、竹田内科クリニックとして少しずつ新しいものや方法を導入してきました。

また、新型コロナウイルス感染がパンデミックになり、世界中に広がり始めてからもう3年になります。そのために、医療の面でも多くのことが以前と変わりました。今後は、さらにいろいろな面で変わっていくものと思います。時代のニーズに応えていかなければなりません。そろそろ世代交代を考えていきたいと思っていました。

もちろん、私の病状のこともあります。開業の翌年に発症したパーキンソン病は、ゆっくりとではありますが少しずつ進行しております。DBS（装置を脳に挿入し、電気刺激にて病状進行をおさえ、少しでも動きを回復させようというもの）も始めました。

今後は今以上に在宅医療のニーズが高まり、さらに Web を使った医療体制を構築していかなければなりません。開業後 22 年がたち何とかやってきましたが、これ以上現状を一人で維持していくことは困難と考えます。

幸いにも、私の子供たちが医師となりそして以前より長男と次男が当院を手伝っています。二人は近い将来、クリニックを引き継ぐことを承諾しております。私もすぐに完全引退せずに、土曜日は担当します。また、他の曜日も待機していることが多いので指名していただければ可能な限り対応します。

これまで、診療を介して皆さまと良い時を持てましたことを大変幸せに思い、心よりお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

院長 竹田 和義